国際ロータリー第2590地区　創立1993. 2. 19　2018. 10. 18　VOL. 26　No. 14　1205

川崎マリーンロータリークラブ

Rotary

2018~19年度 RIテーマ

インスピレーションになろう

2018-2019年度 RI会長
バリー・ラシン
TO BE INSPIRATION

例　会　毎週木曜日12:30
例会場　サンピアン(川崎市立労働会館)
TEL. 044-222-4416
事務局　〒210-0004 川崎市川崎区大島1-26-13-1F
TEL. 044-200-9249 FAX. 044-200-9252
U R L :http://kawasakimarine-rc.com/
E-mail :marin-rc@eagle.ocn.ne.jp

会長
三野公一

幹事
林 伸彦

副会長
内田秀彰

富津シティ・川崎マリーン
総持寺移動例会

ゲスト紹介
三野公一　会長

【特別ビジター】
○富津シティロータリークラブ
　幹事　遠藤 和夫 様
　秋山　和彦 様
　和田　充敏 様

○ロータリー米山奨学生
　アナック アグン
　　ケント アリットさん

安本カウンセラーより
米山奨学金を授与(右写真)

○ロータリー米山学友　陳成姫さん

○秦会員令夫人　秦　紀子 様

ビジター紹介
親睦活動担当員

ありません

出席報告
小峰則明
出席担当委員

	会員数	出席率該当者	出席者	欠席者	ホームクラブ出席率	メークアップ	前回修正出席率
本　日	34	31	22	9	70.91		
前々回	34	31	27	4	87.10	1	90.32
前々回メークアップ	小峰則明 (敬称略)						

会長報告
三野公一　会長

会長挨拶及び連絡事項

幹事報告
林 伸彦 幹事

ありません

今後の予定
◎10月25日(木)「ガバナーエレクト卓話」
　国際ロータリー 第2590地区
　轟　淳次ガバナーエレクト
　「R財団委員長卓話」
　福嶋安行ロータリー財団担当委員
◎11月 1日(木)「会員卓話」
　秦会員・伊藤(恒)会員・茶谷会員
◎11月 8日(木)⇒10日地区大会へ変更
※9日もご都合がつきましたらご参加のほどよろしくお願い致します

曹洞宗大本山総持寺について

■大本山總持寺の開創
總持寺の正式名は、「諸嶽山總持寺」といいます。その開創は700年余もの昔にさかのぼります。
日本海にマサカリのように突き出た能登半島の一角、櫛比庄(現在の石川県輪島市)に諸嶽観音堂という霊験あらたかな観音大士を祀った御堂がありました。そこの住職である定賢権律師が、ある夜に見た夢の物語から、總持寺のあゆみが始まります。
元亨元年(1321)4月18日の晩のこと、律師の夢枕に、僧形の観音様が現れ、
「酒井の永光寺に瑩山という徳の高い僧がおる。すぐ呼んで、この寺を禅師に譲るべし」
と告げて、姿を消されたというのです。
不思議な事に、その5日後の23日の明け方、やはり能登の永光寺室中(方丈の間)でいつも通り、坐禅をしていた瑩山禅師も同じような夢のお告げを聞きました。
諸嶽観音堂は、真言律宗の教院であり、瑩山禅師はかねてから禅院にしたいと念じていました。夢のお告げで、瑩山禅師は入山しようと観音堂の門前に進みます。すると門前に亭があり、禅師はそこの鐃鉢を打ち鳴らして、2つの屋根の楼門を仰ぎみます。山門の楼上には、「大般若経六百巻」が備えられ、手前には放光菩薩が安置されていました。すると、たくさんの僧侶たちと、律師自らが出迎え、歓迎しております。禅師は前に進み、この楼門をくぐります。おもわず、「總持の一門、八字に打開す(門を八の字のように打開する)」と唱えたのです。諸堂を巡り、その壮観さに驚きました。
このようにして瑩山禅師は、定賢権律師の入山の要請を快く受けいれて、諸嶽観音堂に入院します。
前述の『縁起』本文中に「入寺の後、30日を経てまた夢をみる云々」とあり、禅師の入寺は、元亨元年5月15日(夏安居)結制の日であったことが知られます。
禅師と律師は、ともに夢告が符合することに感応道交して、律師は霊夢によって一山を寄進し、禅師は快く拝受し、「感夢によって總持寺と号するはこの意なり」と述べられておられます。
寺号を仏法(真言)が満ち満ち保たれている総府として、「總持寺」と改名し山号は諸嶽観音堂の仏縁にちなんで「諸嶽山」と決定しました。
翌元亨2年(1322)、瑩山禅師59歳の時、後醍醐天皇は、臨済僧、孤峰覚明和尚を使者として、10種の勅問を下されました。これに対する禅師の奉答が深く帝の叡情にかなったので、同年8月28日、總持寺は「曹洞出世の道場に補任」されて、その住持は紫衣の法服着用を公に認められました。更に、この年、9月14日、藤原行房卿に命じられて「總持寺」の三字の書額を揮毫させ、これを賜りました。ここで、總持寺は官寺となり、一宗の大本山たることが認められ、勅定によって曹洞宗の教団であることを、宗の内外に公称するようになりました。

■鶴見ヶ丘への御移転
瑩山禅師によって開創された大本山總持寺は、13000余ヶ寺の法系寺院を擁し宗門興隆と正法教化につとめ、能登に於いて570余年の歩みを進めてまいりました。
しかし、明治31年(1898)4月13日夜、本堂の一部より出火、フェーン現象の余波を受け瞬時にして猛火は全山に拡がり、慈雲閣・伝燈院を残し、伽藍の多くを焼失してしまいました。
明治38年5月、本山貫首となられた石川素童禅師は焼失した伽藍の復興のみでなく、本山存立の意義と宗門の現代的使命の自覚にもとづいて、大決断をもって明治40年3月に官許を得、明治44年(1911)に寺基を現在の地に移されたのであります。

総持寺HP(http://sojiji.jp/honzan/gaiyou.html)より

クラブ会報担当：増田敏雄委員長